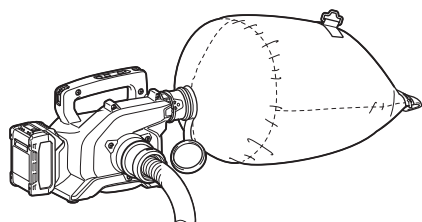




取扱説明書

充電式 小型集じん機

モデル **VC015G**
(粉じん専用)



このたびは充電式小型集じん機をお買い上げ賜わり厚くお礼申し上げます。

ご使用に先立ち、この取扱説明書をよくお読みいただき本製品の性能を十分ご理解の上で、適切な取り扱いと保守をしていただき、いつまでも安全に能率よくお使いくださるようお願いいたします。

なお、この取扱説明書はお手元に大切に保管してください。



もくじ

はじめに

主要機能	2
安全上のご注意	4
各部名称	16
標準付属品の確認	17
別販売品のご紹介	18

ご使用前の準備

組み立て	20
バッテリーの充電	24
バッテリー／充電器の取り扱い	25
使用前に知っておいていただきたいこと	26

使い方

バッテリーの取り付け／取りはずし方法	28
本製品の操作	29
・スイッチの操作	30
・集じん作業（単動モード）	32
・集じん作業（連動モード）	33
無線連動機能（AWS）	35
作業方法	45
・右ごうボード切断	45
別販売品の使い方	46
・ショルダベルト（別販売品）の使い方	46
・ノズル（別販売品）を使ったブロワ作業	48
使用後の取り扱い	50
・粉じんの捨て方	50
・保管場所について	51

保守／点検

保守	52
故障かな？と思ったら	56

はじめに

主要機能

主要機能 \ モデル	VC015G
電動機	DC ブラシレスモータ
使用可能バッテリー	リチウムイオンバッテリー
	「別販売品のご紹介」を参照ください。
電圧	直流 36 V (40 V max) ※ 1
最大風量※ 2	パワフル：4.0 m ³ /min 標準：3.1 m ³ /min エコ：2.4 m ³ /min
最大真空度※ 3	パワフル：10.5 kPa 標準：5.5 kPa エコ：3.0 kPa
最大吸込仕事率※ 3	パワフル：85 W 標準：35 W エコ：15 W
集じん容量	18 L

※ 1：40 V max は満充電時のバッテリー電圧を表しています。

※ 2：バッテリー BL4025 装着時、φ 28 mm × 5.0 m ホースおよびダストバッグ非装着時

※ 3：バッテリー BL4025、φ 28 mm × 5.0 m ホース、ダストバッグ装着時

・改良のため、主要機能および形状などは変更する場合がありますので、ご了承ください。

製品の質量および寸法

装着バッテリー	質量	本製品寸法※ 長さ×幅×高さ
BL4025	2.3 kg	276 mm × 175 mm × 196 mm

※：φ 28 mm × 5.0 m ホースおよびダストバッグ非装着時

1 回の充電での作業量（参考値）

装着バッテリー	集じんモード	連続作業時間※
BL4025	パワフル	約 13 分
	標準	約 30 分
	エコ	約 65 分

※：φ 28 mm × 5.0 m ホースおよびダストバッグ装着時

安全上のご注意

- ・ ご使用前に、「取扱説明書」と「安全上のご注意」すべてをよくお読みの上、正しく使用してください。
- ・ 感電、火災、重傷などの事故を未然に防ぐために、この「安全上のご注意」を必ず守ってください。
- ・ 「充電工具」は、充電式（バッテリーパック式）の電動工具を示します。

注意文の 警告 ・ 注意 ・ 注 の意味について

ご使用上の注意事項は  警告 と  注意 ・  注 に区分していますが、それぞれ次の意味を表します。

警告

： 誤った取り扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。

注意

： 誤った取り扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。

なお  注意 に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結びつく可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

注

： 製品および付属品の取り扱いなどに関する重要なお注意。

充電式製品共通の安全上のご注意

⚠ 警告

作業環境

1. 作業場は、整理整頓してください。また、十分に明るくし、いつもきれいに保ってください。
 - ・ ちらかった暗い場所や作業台は、事故の原因となります。
2. 可燃性の液体・ガス・粉じんのある所で使用しないでください。
 - ・ 充電工具から発生する火花が発火や爆発の原因になります。
3. 使用中は子供や第三者を作業場に近づけないでください。
 - ・ 注意力が散漫になり、操作に集中できなくなる可能性があります。
 - ・ 作業者以外、充電工具や充電器のコードに触れさせないでください。
4. 十分な、防じん対策や飛散防止対策をしてください。
 - ・ 特に、人体に有害な成分を含む材料を加工するときは、注意してください。
5. アスベスト（石綿）周辺の環境下（除去作業含む）で使用しないでください。
 - ・ アスベストは、人体に肺がんなどの重大な健康被害を発症させる物質です。

電気に関する安全事項

1. 電源コンセントは充電器の電源プラグに合ったものを使用してください。また、電源プラグの改造をしないでください。アース（接地）付きプラグは確実にアース（接地）をしてください。
 - ・ 改造していない電源プラグおよびそれに対応するコンセントを使用すれば、感電のリスクが低減されます。
2. 金属製のパイプや暖房器具、電子レンジ、冷蔵庫の外枠などアース（接地）されているものに身体を接触させないようにしてください。
 - ・ 感電する恐れがあります。
3. 充電工具、バッテリーおよび充電器は、雨ざらしにしたり、湿った、またはぬれた場所で使用したり、充電したりしないでください。
 - ・ 充電工具や充電器内部に水が入り、感電やバッテリーが短絡（ショート）する恐れがあります。
 - ・ バッテリー内部に水が入り短絡（ショート）すると、発熱、発火、破裂の恐れがあります。
4. 充電器の電源コードを乱暴に扱わないでください。
 - ・ 電源コードを持って充電器を運んだり、引っ張ったりしないでください。また、電源プラグを抜くために電源コードを利用しないでください。
 - ・ 電源コードを熱、油、角のある所、動くものに近づけないでください。電源コードが損傷したり、身体にからまって感電する恐れがあります。
5. 使用環境に適した延長コードを使用してください。
6. USB 端子付きの充電工具や充電器は、USB 端子間を短絡（ショート）させないでください。
 - ・ 釘、針金が USB 端子内に入ると、短絡（ショート）して発煙、発火の恐れがあります。

⚠ 警告

作業者に関する安全事項

1. 油断しないで十分注意して作業をおこなってください。
 - ・ 充電工具を使用する場合は、取扱方法、作業の仕方、周りの状況など十分注意して慎重に作業してください。
 - ・ 疲れていたり、アルコールまたは医薬品を飲んでいる方や妊娠している方は、充電工具を使用しないでください。
 - ・ 屋外での作業の場合は、夜間の使用や悪天候などで視界の悪いときは充電工具を使用しないでください。
 - ・ 一瞬の不注意が深刻な傷害を招きます。
2. 安全保護具を使用してください。
 - ・ 作業時は、常に保護メガネを使用してください。また、粉じんの多い作業では防じんマスクを併用してください。必要に応じて、すべり防止安全靴・ヘルメット、耳栓、イヤマフなどを着用してください。
3. 不意な始動は避けてください。
 - ・ バッテリーを本製品に差し込む前に、スイッチが切れていることを確かめてください。
 - ・ スイッチに指をかけて運ばないでください。
4. 充電工具の電源を入れる前に、調整キーやレンチなどは、必ず取りはずしてください。
 - ・ 電源を入れたときに、取り付けたキーやレンチなどが回転して負傷する恐れがあります。
 - ・ 本製品に収納場所がある場合は、決められた位置にしっかり固定してください。
5. 無理な姿勢で作業をしないでください。
 - ・ 本製品を無理に押しつせず、常に足元をしっかりさせ、バランスを保つようにしてください。
6. きちんとした服装で作業してください。
 - ・ だぶだぶの衣服やネックレスなどの装身具は、回転部に巻き込まれる恐れがあるので着用しないでください。
 - ・ 髪、衣服、手袋は回転部分に近づけないでください。
 - ・ 屋外での作業の場合には、ゴム手袋とすべり止めの付いた履物の使用をおすすめします。
 - ・ 長い髪は、帽子やヘアカバーなどで覆ってください。
7. 集じん装置が接続できるものは接続して使用してください。
 - ・ 充電工具に集じん機などが接続できる場合は、これらの装置を確実に接続することで粉じんの人体への影響を軽減できます。
8. 使用直後は製品の端子部に触れないでください。熱くなっているためやけどの恐れがあります。

⚠ 警告

充電工具の使用および手入れ

1. 充電工具は能力に合った作業に使用してください。
 - ・ 安全に能率よく作業するために、充電工具の能力に合った負荷で作業してください。
2. スイッチに異常がないか点検してください。
 - ・ スイッチで始動および停止操作のできない充電工具は危険です。使用せず修理をお申し付けください。
3. 充電工具の誤始動を防ぐために、次の作業前はスイッチを切り、バッテリーを本製品から抜いてください。
 - ・ 本製品の調整
 - ・ 刃物、砥石、ビットなどの先端工具や付属品の交換
 - ・ 保管、または修理
 - ・ 充電工具から離れるとき
 - ・ 本製品の受け渡し
 - ・ その他危険が予想される作業
4. 使用しない充電工具、充電器およびバッテリーは、子供の手の届かない乾燥した鍵のかかる場所に保管してください。
 - ・ 充電工具や充電器からバッテリーを抜いて保管してください。
 - ・ 充電器は電源コンセントから電源プラグを抜いて保管してください。
 - ・ バッテリーはバッテリーカバーをつけて保管してください（バッテリーカバー付きの場合）。
5. 可動部分の位置調整および締め付け状態、部品の破損、取り付け状態、その他運転に影響をおよぼすすべての部位に異常がないか確認してください。
 - ・ 保守点検が不十分であることが事故の原因になります。
 - ・ 握り部は、常に乾かしてきれいな状態に保ち、油やグリスなどが付かないようにしてください。
 - ・ 注油や付属品の交換は、取扱説明書に従ってください。
 - ・ 充電器の電源コードは定期的に点検し、損傷している場合は、お買い上げの販売店、または当社営業所に修理をお申し付けください。
 - ・ 充電器に使用する延長コードは、定期的に点検し、損傷している場合は交換してください。
 - ・ 安全に能率よく作業していただくために、刃物類は常に手入れをし、よく切れる状態を保ってください。
6. 先端工具は、鋭利できれいな状態を保ってください。
 - ・ 先端工具を適切に手入れすることで、円滑な作業と容易な操作ができます。
7. 取扱説明書で指定した先端工具、付属品、アタッチメントなどを使用してください。
 - ・ 取扱説明書で指定のサイズ、形状、付属品などは、本製品の性能や安全を引出すよう、最適に設計されています。
8. 充電工具、付属品、アタッチメント、先端工具類は、作業条件や実施する作業に合わせてご使用ください。
 - ・ 指定された用途以外に使用すると、事故の原因になります。
9. 極端な高温や低温の環境下では十分な性能を得られません。

⚠ 警告

バッテリーに関する安全事項

1. バッテリーを差し込む前に、スイッチが切れていることを確認してください。
 - ・ スwitchがオンの位置にあるときにバッテリーを差し込むと事故につながります。
2. バッテリーは専用充電器以外では充電しないでください。
 - ・ ほかのバッテリー用の充電器を流用すると、火災、発熱、破裂、液漏れの恐れがあります。
3. マキタが指定した専用バッテリー以外使わないでください。また、改造したバッテリー（分解してセルなどの内蔵部品を交換したバッテリーを含む）を使用しないでください。
 - ・ 工具本体の性能や安全性なども損なう恐れがあり、火災やけが、故障、破裂などの原因になります。
4. バッテリーの端子部を金属などで接触させないでください。
 - ・ バッテリーを金属と一緒に工具箱や釘袋などに保管しないでください。短絡（ショート）して発熱、発火、破裂の恐れがあります。
 - ・ 本製品または充電器からはずした後は、バッテリーにバッテリーカバーを必ず取り付けてください（バッテリーカバー付きの場合）。
5. 高温などの過酷な条件下ではバッテリーから液漏れすることがあります。漏れ出た液体に不用意に触れないでください。
 - ・ 万が一、バッテリーの液が目に入ったら、直ちにきれいな水で十分洗い医師の治療を受けてください。
 - ・ バッテリーの液は炎症ややけどの原因になることがあります。
6. バッテリーはマキタ製品以外に取り付けて使用しないでください。
 - ・ 火災、発熱、破裂、液漏れの恐れがあります。
7. バッテリーは、火への投入、加熱をしないでください。
 - ・ 発火、破裂の恐れがあります。
8. バッテリーに釘を刺す、切る、潰す、投げる、落とす、硬いもので叩くなど衝撃を与えないでください。
 - ・ 発熱、発火、破裂の恐れがあります。
9. 分解・改造をしないでください。
 - ・ 発熱、発火、破裂の恐れがあります。
10. バッテリーを火のそばや炎天下など高温の場所で充電・使用・保管しないでください。
 - ・ バッテリーを周囲温度が 50℃以上に上がる可能性のある場所（金属の箱や夏の車内など）に保管しないでください。バッテリー劣化の原因になり、発煙、発火の恐れがあります。
11. バッテリーを水のような導電体に浸さないでください。また、バッテリーの内部に水のような導電体を侵入させないでください。
 - ・ バッテリー内部に水のような導電体が侵入すると短絡（ショート）し、発熱、発火、破裂の恐れがあります。
12. 使用時間が極端に短くなったバッテリーは使用しないでください。
13. 落としたり、何らかの損傷を受けたバッテリーは使用しないでください。
 - ・ 損傷、または使用できなくなったバッテリーは回収しております。お買い上げの販売店、または当社営業所へご持参ください。

⚠ 警告

14. 使用済みのバッテリーは一般家庭ゴミとして棄てないでください。
 - ・ 棄てられたバッテリーがゴミ収集車内などで破壊されて短絡（ショート）し、発火・発煙の原因になる恐れがあります。
15. バッテリーは、電力量が 100 Wh を超える場合、危険物に分類されます。
 - ・ 輸送の際は、輸送会社にお問い合わせの上、指示に従ってください。
 - ・ 電力量は、バッテリー裏側の注意ラベルに記載されています。
16. 使用中、使用後にバッテリーが熱くなることがあります。やけど、低温やけどの原因になるため注意してください。
17. バッテリーに切りくず、ホコリ、土などがたまらないようにしてください。
 - ・ 異常発熱によりやけどをしたり、発火、破裂または、作動不良によりけがに至る恐れがあります。

整備

1. 充電工具は、専門家による純正部品だけを用いた修理により安全性を維持することができます。
 - ・ 本製品、充電器、バッテリーを分解、修理、改造はしないでください。発火したり、異常動作して、けがをする恐れがあります。
 - ・ 本製品が熱くなったり、異常に気づいたときは点検・修理に出してください。
 - ・ 本製品は、該当する安全規格に適合しているので改造しないでください。
 - ・ 修理は、必ずお買い上げの販売店、または当社営業所にお申し付けください。
 - ・ 修理の知識や技術のない方が修理すると、十分な性能を発揮しないだけでなく、事故やけがの恐れがあります。
 - ・ アスベスト（石綿）周辺の環境下（除去作業含む）で使用した本製品の保守・点検・修理は受付できません。

その他の安全事項

1. 損傷した部品がないか点検してください。
 - ・ 使用前に、保護カバーやその他の部品に損傷がないか十分点検し、正常に作動するか、所定機能を発揮するか確認してください。異常がある場合は、使用する前に修理をおこなってください。
 - ・ 破損した保護カバー、その他の部品交換や修理は、取扱説明書に従ってください。取扱説明書に記載されていない場合は、お買い上げの販売店、または当社営業所に修理をお申し付けください。スイッチが故障した場合は、お買い上げの販売店、または当社営業所に修理をお申し付けください。
 - ・ 異常・故障時には、直ちに使用を中止してください。そのまま、使用すると発煙・発火、感電、けがに至る恐れがあります。
- ＜異常・故障例＞
- ・ 本製品やバッテリーが異常に熱い。
 - ・ 本製品やバッテリーに深いキズや変形がある。
 - ・ 焦げくさい臭いがする。
 - ・ ビリビリと電気を感じる。
 - ・ スイッチを入れても動かないなど不具合を感じた場合は、すぐにバッテリーを抜いてお買い上げの販売店、または当社営業所に点検、修理をお申し付けください。

⚠ 警告

2. 正しい付属品やアタッチメントを使用してください。
 - ・ この取扱説明書および当社カタログに記載されている付属品やアタッチメント以外のものを使用すると、事故やけがの原因となる恐れがあるので使用しないでください。
3. 材料を加工する工具では、材料をしっかりと固定してください。
 - ・ 材料を固定するために、クランプや万力などを利用してください。手で保持するより安全で、両手で充電工具を使用できます（材料を動かして加工する製品を除く）。
4. ラッカー、ペイント、ベンジン、シンナー、ガソリン、ガス、接着剤などのある場所では充電しないでください。
 - ・ 爆発や火災の恐れがあります。
5. 火災の恐れがあります。次のようなことをしないでください。
 - ・ ダンボールなどの紙類、座布団などの布類、畳、カーペット、ビニールなどの上では充電しないでください。
 - ・ 風窓のある充電器は、充電中に風窓をふさがないでください。また、風窓に金属類、燃えやすいものを差し込まないでください。
 - ・ 綿ボコリなど、ホコリの多い場所で充電しないでください。
6. 充電器のバッテリー装着部には充電用端子があります。金属片・水などの異物を近づけないでください。
 - ・ そのまま充電を続けると発煙、発火、破裂の恐れがあります。
7. 充電器は充電以外の用途には使用しないでください。
8. 充電中、発熱などの異常に気が付いたときは、直ちに電源プラグを抜いて充電を中止してください。そのまま充電を続けると発煙、発火、破裂の恐れがあります。
9. 正しく充電してください。
 - ・ 充電器は定格表示してある電源で使用してください。
 - ・ 昇圧器などのトランス類や直流電源では使用しないでください。異常に発熱し、火災の恐れがあります。
 - ・ ラベルに「発電機」の表示がある充電器はエンジン発電機（当社インバータ制御付エンジン発電機は除く）では使用しないでください。異常に発熱し、火災の恐れがあります。
 - ・ バッテリーは、換気のよい場所で充電してください。充電中のバッテリーや充電器を布などで覆わないでください。破裂や火災の恐れがあります。
 - ・ 充電器の電源コードが踏まれたり、引っかけられたり、無理な力を受けて損傷することがないように場所で充電してください。発煙、発火、感電の恐れがあります。
 - ・ 充電器を使用しないときは、電源プラグを抜いてください。
10. 充電器の電源プラグにぬれた手で触れないでください。
 - ・ 感電の恐れがあります。
11. 充電工具を高圧電線の近くで使用しないでください（高圧電線対応製品は除く）。
 - ・ 誤動作や故障する恐れがあります。

⚠ 警告

12. 充電器で使用する延長コードの太さ（導体公称断面積）と長さの目安

- 充電器の使用時に延長コードが必要な場合、充電器を最高の能率で支障なくご使用いただくために十分な太さの延長コードをできるだけ短くお使いください。

太さ（導体公称断面積）	長さの目安
2.0 mm ²	30 m

この取扱説明書は、大切に保管してください。

- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見ることができる所に必ず保管してください。
- ほかの人に貸し出す場合は、一緒に取扱説明書もお渡しください。

●騒音防止規制について

騒音に関しては、法令や各都道府県などの条例で定める規制がありますので、ご近所などの周囲に迷惑をかけないようにご使用ください。

充電式小型集じん機の安全上のご注意

先に充電工具としての共通の注意事項を述べましたが、充電式小型集じん機として、さらに次の注意事項を守ってください。

⚠ 警告

1. 使用中、本製品の調子が悪かったり、異常音がしたときは、直ちにスイッチを切って使用を中止し、お買い上げの販売店、または当社営業所に点検・修理をお申し付けください。

- ・ そのまま使用していると、けがの原因になります。

2. 以下のものは吸わせないでください。けが、故障、火災の原因となります。

引火性物質

- ・ 油類（灯油・ガソリンなど）
- ・ 溶剤（ベンジン、シンナーなど）
- ・ マッチ、線香、ろうそく、熱い灰など火のついているもの、たばこの吸殻などの煙の出ているもの、および高熱のものなど
- ・ トナーなどの可燃物
- ・ 塗料
- ・ 金属の切断作業および研削作業中に発生する研削火花や金属粉など
- ・ 可燃性ガス（スプレーなど）
- ・ じゅうたん洗剤などの泡状のものなど

爆発性物質

- ・ ニトログリセリンなど

発火性物質

- ・ アルミニウム・マグネシウム・チタン・亜鉛・赤リン・黄リン・セルロイドやそのほか化学物質など、およびそれらの粉じん・ガス・蒸気

鋭利なもの（ガラス、刃物、木片、金属、石、釘、カミソリ、押しピンなど）
ファンにからまりやすいもの（ロープ、長いひも、枝など）

固化するものや導電性の微粉（金属粉・カーボン）

除湿剤

大量の粉末（小麦粉、消火器の粉など）

人体に有害な物質（アスベストなど）、中毒症状を起こす物質

薬品類

濡れているものや、水、その他液体

3. 吸込口や排出口には手を入れないようにしてください。

- ・ けがの原因になります。

4. 吸込口や排出口をふさいで運転しないでください。

- ・ モーターが焼損し、本製品の変形や火災の原因になります。

5. ホースの着脱は、ファンの回転が完全に停止してから行ってください。

- ・ 回転中に行いますと、けがの原因になります。

⚠ 警告

6. 集じん作業前に、必ずダストバッグとホースが確実に本製品に取り付けられていることを確認してください。また、ダストバッグのファスナーおよび面ファスナを確実に閉めてから使用してください。
 - ・ 粉じんが吹き出し、けがや事故の原因になります。
7. 誤って落としたり、ぶつけたときは、本製品などに破損や亀裂、変形がないことをよく点検してください。
 - ・ 破損や亀裂、変形があると、けがの原因になります。
8. 可燃物が大量に舞っている場所で使用しないでください。
 - ・ 火災の原因となります。
9. 本製品を高所で使用しないでください。
 - ・ 本製品が落下してけがをしたり、本製品が破損したりする恐れがあります。
10. 本製品は平らな安定した場所に置いてご使用ください。
 - ・ 本製品が落下してけがをしたり、本製品が破損したりする恐れがあります。
11. 水洗いしないでください。また、風呂場など湿った場所や濡れた場所で使用、保管しないでください。
 - ・ 本製品が発火し、火災の原因になります。
12. 本製品上面を踏み台にしたり、座ったりしないでください。
 - ・ 転倒するなどけがの原因になります。

⚠ 注意

1. 付属品は、取扱説明書に従って確実に取り付けてください。
 - ・ 確実にしないと、はずれたりし、けがの原因になります。
2. 本製品は粉じん専用集じん機です。
 - ・ 粉じん以外のゴミ（金属片、小石、木端など）を吸い込むとファンの破損など、故障の原因になります。
3. ダストバッグにゴミが溜まったまま本製品を使用しないでください。
 - ・ ダストバッグにゴミが詰まったまま作業を続けると、故障や吸引力低下の原因になります。
4. 吸気口、サイレンサ、ホースが粉じんでき詰まった状態で本製品を使用しないでください。
 - ・ 空気の通路が塞がれ、故障の原因となります。
5. 吸引力が弱くなった状態で運転を続けしないでください。
 - ・ 本製品が発熱し、故障の原因となるおそれがあります。
6. 火気に近づけないでください。
 - ・ 本製品の変形の原因になります。
7. ひも状のものなどファンにからまりやすいものは吸わせしないでください。
 - ・ 故障の原因になります。
8. 本製品上面を作業台として使わないでください。
 - ・ 本製品に載せたものが落ちて、破損する恐れがあります。

ワイヤレスユニットの使用上のご注意

- ・ ワイヤレスユニットが集じん機に内蔵されている場合、ワイヤレスユニットは取りはずすことができません。無理に分解などして取り出さないでください。

⚠ 警告

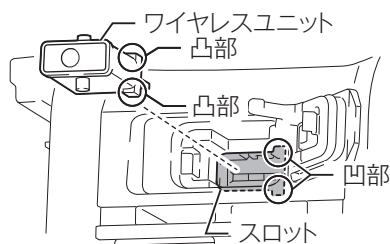
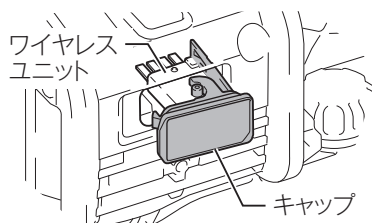
1. バッテリーが挿入されている状態で、工具からワイヤレスユニットを取りはずさないでください。故障の原因となります。
2. ワイヤレスユニットは、電波法に基づく小電力データ通信の無線設備として認証を受けています。従って、ワイヤレスユニットを使用するときに無線局の免許は必要ありません。
3. ワイヤレスユニットを分解、改造しないでください。
4. ワイヤレスユニットを水にぬらさないでください。
5. ワイヤレスユニットは 50℃を超える環境下で使用しないでください。
6. ワイヤレスユニットは精密機械です。強い衝撃を与えたり、落としたりしないでください。
7. ワイヤレスユニットの金属端子を手や金属で触れないでください。
8. ワイヤレスユニットはマキタ製の無線連動対応した工具以外で使用しないでください。
9. 乳幼児の手の届く場所に置かないでください。誤って飲み込んだ際は、直ちに医師の診断を受けてください。
10. 静電気や電気ノイズが発生する場所で使用や保管をしないでください。
11. 車内など、高温になる場所や直射日光が当たる場所に置かないでください。
 - ・ 急激な温度変化は結露の原因になります。結露した場合は乾くまで使用しないでください。
12. 湿度の高い場所、ほこりや粉じんが多い場所、腐食性のガスが発生する所で使用や保管をしないでください。
13. ワイヤレスユニットを保管する際は、付属のケースまたは静電気対策された袋などに入れて保管してください。
14. 無線連動ボタンを必要以上に強く押したり、先端の尖ったもので押したりしないでください。
15. ワイヤレスユニットが汚れた際は、乾いた柔らかい布で拭いてください。ベンジンやシンナーなどの揮発性の薬品、接点グリスなどは使用しないでください。
16. 心臓ペースメーカーなどの医療機器の近くで無線連動機能を使用しないでください。
17. 自動制御機器などの近くで使用すると誤作動の恐れがあります。
18. 複数のワイヤレスユニットの機器登録は 1 台ずつ行ってください。
19. 機器登録済みのワイヤレスユニットを工具に取り付けければ、使用するたびに機器登録をする必要はありません。

⚠ 警告

20. 機器登録済みのワイヤレスユニットを取り付けた複数の工具をお使いの際は、無線連動機能を使用する工具以外は無線連動を OFF にしてください。
 - ・ 工具のスイッチを切っても集じん機が動き続けたり、不意に集じん機が動き出す原因になります。
21. 無線連動の有効距離は約 10 m です。ただし、工具と集じん機の間には障害物などがあると有効距離が短くなる場合があります。
22. 無線連動機能を使用する場合は、ご使用前に集じん機と工具が連動することを確認してください。
 - ・ 連動できない状態で使用すると、工具から漏れ出した粉じんを作業者が吸い込む恐れがあります。

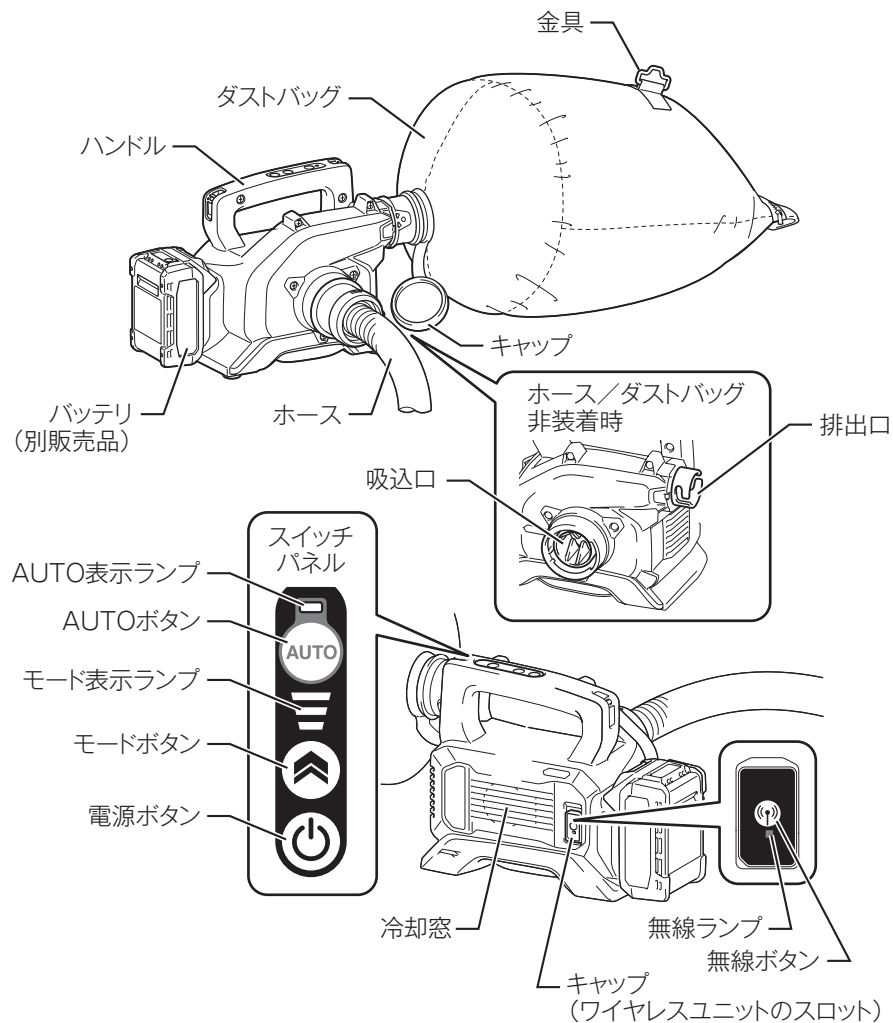
⚠ 注意

- ・ ワイヤレスユニットを取り付ける際は、必ずバッテリーを抜いてから行ってください。
- ・ ワイヤレスユニットの取り付け方法については、使用する工具の取扱説明書を併せて参照してください。
- ・ 工具側のキャップをあける際、キャップ周辺に粉じんや水が付着していたときはきれいに取り除いてから、あけてください。
- ・ スロットに粉じんや水が入らない環境で行ってください。もしスロットに粉じんや水が付着しているときは、きれいに取り除いてください。
- ・ ワイヤレスユニットの凸部とスロットの凹部を合わせて取り付けてください。
- ・ ワイヤレスユニットとスロットの形状が合わない向きで無理に押し込まないでください。
- ・ キャップが開いた状態で使用しないでください。



※イラストは参考例です。製品によりスロットの位置、その他デザインが異なりますのでご了承ください。

各部名称



標準付属品の確認

標準付属品	モデル	VC015GZ
バッテリー		×
充電器		×
ダストバッグ (サイレンサ、キャップ付属)		○
ホースφ 28 mm × 5.0 m (フロントカフス 38 付属)		○
フロントカフス 22		○

別販売品のご紹介

- ・ 別販売品の詳細につきましてはカタログを参照していただくか、お買い上げの販売店、または当社営業所へお問い合わせください。
- ・ ダストバッグコンプリート
部品番号：A-01219
※サイレンサおよびキャップは付属していません。
- ・ サイレンサ
部品番号：1918D2-4
- ・ キャップ
部品番号：1918D3-2
- ・ ショルダベルト
部品番号：166063-7
※運搬する際に使用してください。
- ・ ホースコンプリート
(ϕ 28 mm $\times$ 5.0 m)
部品番号：A-34229
- ・ メッシュスリーブホース
(ϕ 28 mm $\times$ 5.0 m)
部品番号：A-70122
- ・ ホースコンプリート DX タイプ
(ϕ 28 mm $\times$ 5.0 m)
部品番号：A-30623
- ・ ノズル
部品番号：123245-4
- ・ フロントカフス 24 セット品
部品番号：195546-0
- ・ ジョイントH
部品番号：424009-2
HiKOKI 製電動工具と接続できません (HiKOKI 製アダプタ・ジョイントを併用してください)。
- ・ ワイヤレスユニット (WUT01)
部品番号：A-66151
無線連動機能を使用するには、ワイヤレスユニットと無線連動機能に対応したマキタ製工具と集じん機が必要です。

バッテリーおよび充電器

品目	品名	部品番号
使用可能バッテリー (容量／セル数)	◎ BL4020 (2.0 Ah / 10 本)	A-75823
	◎ BL4025 (2.5 Ah / 10 本)	A-69923
	◎ BL4040 (4.0 Ah / 10 本)	A-69939
	◎ BL4040F (4.0 Ah / 10 本)	A-73841
	◎ BL4050F (5.0 Ah / 20 本)	A-72372
	BL4080F (8.0 Ah / 20 本)	A-73368
	BL4080H (8.0 Ah / 20 本)	A-77263
対応充電器	DC40RA (急速充電器)	JPADC40RA
	DC40RB (2 口急速充電器)	JPADC40RB
	DC40WA (2 口充電器)	JPADC40WA
	DC40WB (充電器)	JPADC40WB

◎：使用推奨バッテリー

- ・ ADP10 充電器用互換アダプタ

部品番号：A-69967

充電器 DC40RA または DC40RB に取り付けることでマキタ 14.4 V / 18 V バッテリーの充電が可能になるアダプタです。

ご使用前の準備

組み立て

⚠ 警告

付属品の取り付け、取りはずしの際は、必ず本製品からバッテリーを取りはずしてください。

- ・ バッテリーを差したままおこなうと、感電や事故の原因になります。

⚠ 注意

本製品のご使用前に、ダストバッグとホースを正しく取り付けてください。

ダストバッグの取り付け／取りはずし方法

⚠ 警告

集じん作業時は、必ず本製品にダストバッグを取り付けて使用してください。ダストバッグに穴や破れがないことを確認してから使用してください。ダストバッグは確実に本製品に取り付けてください。また、ファスナーおよび面ファスナを確実に閉めてから使用してください。

- ・ 粉じんが吹き出し、けがや事故の原因になります。

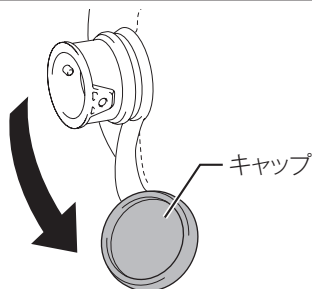
⚠ 注意

ダストバッグを取りはずすときは、粉じんが舞い上がらないように静かに作業してください。

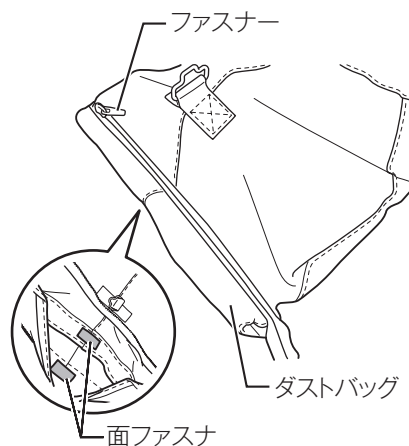
- ・ 粉じんが目に入り、目を痛める恐れがあります。

ダストバッグの内部にはサイレンサが取り付けられています。サイレンサをはずした状態でも本製品は使用できますが、騒音が大きくなります（サイレンサの取りはずし方法については 54 ページを参照してください）。

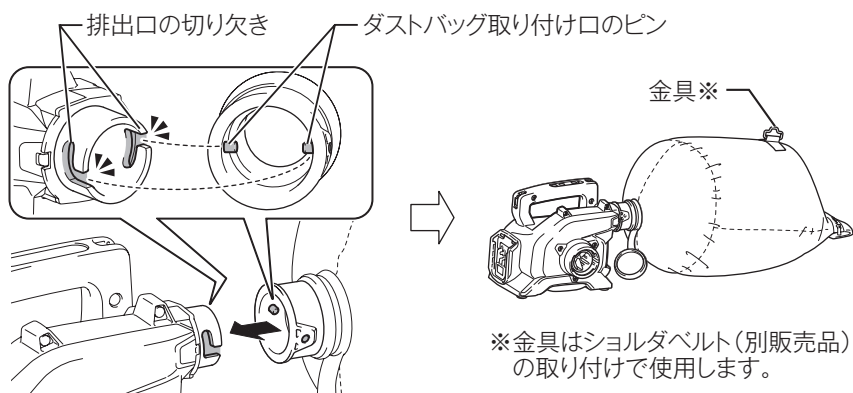
1. ダストバッグのキャップを開きます。



2. ダストバッグの面ファスナーおよびファスナーが確実に閉まっていることを確認します。

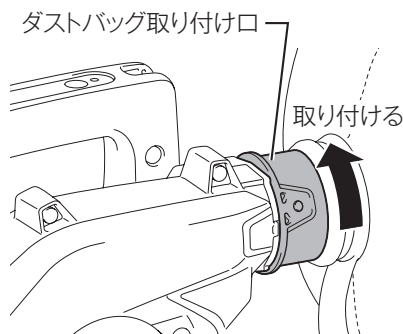


3. ダストバッグの金具を上にした状態で、ダストバッグ取り付け口内側のピン(2か所)を排出口の切り欠きに合わせて、取り付け口を挿し込みます。



4. 取り付け口を矢印の方向に回し、固定します。
軽く引っ張り、抜けないことを確認します。

- ・ 取りはずす際は、取り付け口を左いっぱいまで回して引き抜いてください。



ホースの取り付け／取りはずし方法

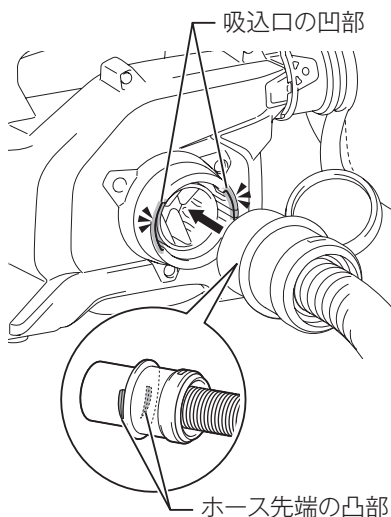
⚠ 注意

ホースを無理に曲げたり、踏みつけたりしないでください。また、ホースを引っ張って本製品を移動しないでください。

- ・ ホースの変形や破損などの原因になります。

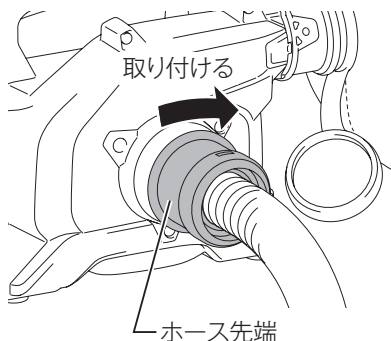
ホースは使用中に抜けないように、確実に取り付けてください。

1. ホース先端の凸部を吸込口の凹部に合わせて、ホースを挿し込みます。



2. ホースを矢印の方向に回し、固定します。
軽く引っ張り、抜けないことを確認します。

- ・ 取りはずす際は、ホースを左いっぱいまで回して引き抜いてください。



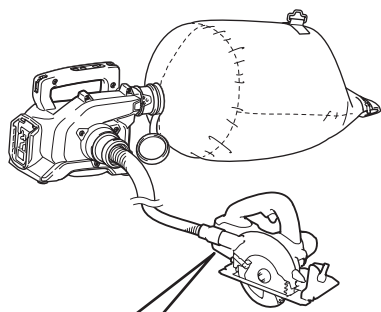
電動工具を接続する

⚠ 警告

本製品を電動工具に接続する際は、必ず本製品および電動工具からバッテリーを取りはずしてください。

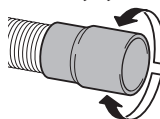
- ・ バッテリーを差したままおこなうと工具が動き出し、事故の原因になります。

1. ホース先端を電動工具の粉じん排出口に接続します。
 - ・ 電動工具の粉じん排出口の大きさに合わせて、フロントカフスを取り替えてご使用ください。詳しくは、電動工具の取扱説明書またはカタログを参照ください。



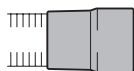
フロントカフスの取り替え方

はずす

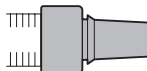


※取り付ける場合は、右に回して止まるまでねじ込んでください。

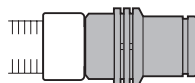
取り付ける



フロントカフス38



フロントカフス22



フロントカフス22に
フロントカフス24
(別販売品)を取り付け

2. ホース先端を引っ張り、抜けないことを確認します。

注

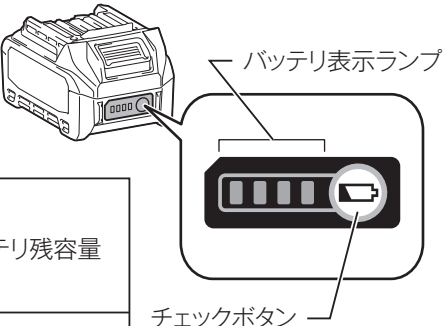
- ・ ホースを無理に曲げたり、踏みつけたりしないでください。また、ホースを引っ張って本製品を移動しないでください。
 - ・ ホースの変形や破損などの原因になります。

バッテリーの充電

バッテリーは別販売品です。

バッテリー残容量表示

- ・ チェックボタンを押すとバッテリー表示ランプが残容量を数秒間表示します。



The diagram shows the device with a callout to the battery display lamp and the check button. The lamp is located on the front panel, and the check button is a small circular button next to it.

バッテリー表示ランプ				バッテリー残容量
■:点灯	◐:点滅	□:消灯		
■	■	■	■	75 % - 100 %
■	■	■	□	50 % - 75 %
■	■	□	□	25 % - 50 %
■	□	□	□	0 % - 25 %
◐	□	□	□	充電してください。
■	■	□	□	バッテリーの異常 です。
□	□	■	■	

注

- ・ 表示される残容量は、ご利用状況や気温などによって実際の残容量と異なる場合があります。
- ・ バッテリー保護機能が働いた際は、左端のバッテリー表示ランプが点滅します。

バッテリーの充電方法

- ・ お客様がお持ちの充電器の取扱説明書に従って充電を実施してください。

バッテリー／充電器の取り扱い

バッテリー、充電器は別販売品です。

バッテリーについて

- ・ お買い上げ時は、バッテリーは十分に充電されていないため、充電器で正しく充電してからご使用ください。
- ・ 使用しないときはバッテリーカバーをかぶせてください。バッテリーを水やほこりから保護するのに役立ちます。
- ・ 使用しないときは本製品または充電器からバッテリーを抜いて保管してください。

バッテリーを長持ちさせるには

- ・ 工具の力が弱くなってきたと感じたら使うのをやめ、充電してください。
- ・ 満充電したバッテリーを再度充電しないでください。
- ・ 充電は周囲温度 10℃～40℃の範囲で行ってください。
- ・ 長期間（6ヶ月以上）ご使用にならない場合、リチウムイオンバッテリーは充電してから保管することをおすすめします。

バッテリーの回収について

- ・ 使用済みバッテリーはリサイクルのため回収しております。お買い上げの販売店、または当社営業所へご持参ください。



リチウムイオンバッテリーは
リサイクルへ

充電器の点検・修理・保管方法

- ・ お客様がお持ちの充電器の取扱説明書に従って実施してください。

使用前に知っておいていただきたいこと

運搬方法

⚠ 注意

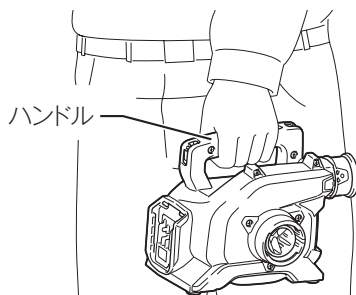
本製品を運搬する際は、必ず本製品からバッテリーを取りはずしてください。

- ・ バッテリーを差したままおこなうと、感電や事故の原因になります。

本製品を運搬する際は、必ずハンドルまたはショルダベルト（別販売品）を使用してください。

- ・ 本製品が落下してけがをしたり、本製品が破損したりする恐れがあります。

- ・ 運搬する際はハンドルを持ってください。

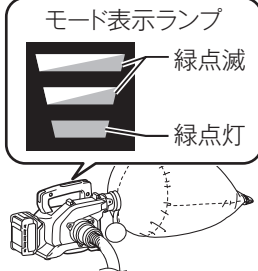


注

- ・ 本製品を運搬する前にダストバッグ内の粉じんを捨ててください（50 ページ参照）。
 - ・ ダストバッグが破損し、粉じんが漏れる可能性があります。
- ・ ショルダベルト（別販売品）については 46 ページを参照してください。

本製品およびバッテリーの保護機能

本製品を使用中、下記状態になりますとモータが自動停止しますが、これは保護機能によるものです。

保護機能	
- 本製品およびバッテリーが高温になるとモータが自動停止します。 - 使用を中断して本製品からバッテリーを取りはずし、冷却ファン付きの充電器で充電および冷却をしてください。 - バッテリーを冷ましても本製品が動作しない場合は、本製品を冷ましてください。	本製品の異常発熱 モード表示ランプ  緑点減 緑点灯
- バッテリーの容量が少なくなるとモータが自動停止します。 - 本製品からバッテリーを取りはずし、バッテリーを充電してください。	
- 本製品が過負荷状態になるとモータが自動停止します。 - 一旦スイッチを切り本製品からバッテリーを取りはずしたあと、過負荷の原因を取り除いてください。原因を取り除けば再びご使用になれます。	

- 上記以外の症状で停止した場合、「故障かな?と思ったら」(56 ページ参照)に従って点検してください。

バッテリーの取り付け／取りはずし方法

⚠ 警告

バッテリーは確実に差し込んでください。ボタンの赤色部が見えている場合は完全にロックされていません。赤色部が見えなくなるまでしっかり差し込んでください。

- ・ 差し込みが不十分ですと、はずれて事故の原因になります。

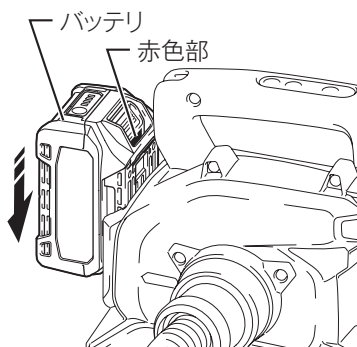
バッテリーの取り付け、取りはずしの際は、指をはさまないように注意してください。

- ・ けがの原因になります。

濡れた手でバッテリーを抜き差ししないでください。

取り付け方

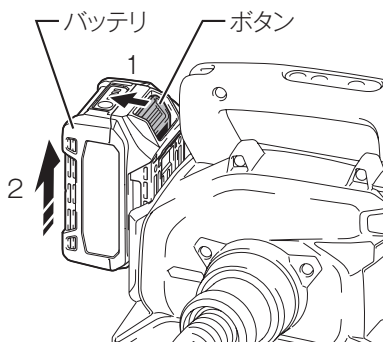
- ・ バッテリーを本製品の溝に合わせ、ボタンの赤色部が見えなくなるまで差し込みます。



※イラストはBL4025の取り付け例です。

取りはずし方

- ・ バッテリーのボタンを
 1. 矢印方向に押しながら
 2. 引き出します。



本製品の操作

⚠ 警告

使用前に、すべての付属品が確実に取り付けられていることを確認してください。

- ・ 確実に取り付けられていないと、使用中にはずれてけがや事故の原因になります。

本製品は粉じん専用集じん機です。

- ・ 粉じん以外のゴミ（金属片、小石、木端など）を吸い込むとファンの破損など、故障の原因になります。

本製品を高所で使用しないでください。

- ・ 本製品が落下してけがをしたり、本製品が破損したりする恐れがあります。

本製品は平らな安定した場所に置いてご使用ください。

- ・ 本製品が落下してけがをしたり、本製品が破損したりする恐れがあります。

集じん作業時、ダストバッグから排出される風を周囲の人に向けないでください。

- ・ 事故の原因になります。

水洗いしないでください。また、風呂場など湿った場所や濡れた場所で使用、保管しないでください。

- ・ 本製品が発火し、火災の原因になります。

集じん機を倒した状態で使用しないでください。

- ・ 感電や故障の原因になります。

⚠ 注意

ダストバッグにゴミが溜まったまま本製品を使用しないでください。

- ・ ダストバッグにゴミが詰まったまま作業を続けると、故障や吸引力低下の原因になります。

吸気口、サイレンサ、ホースに粉じんが詰まった状態で本製品を使用しないでください。

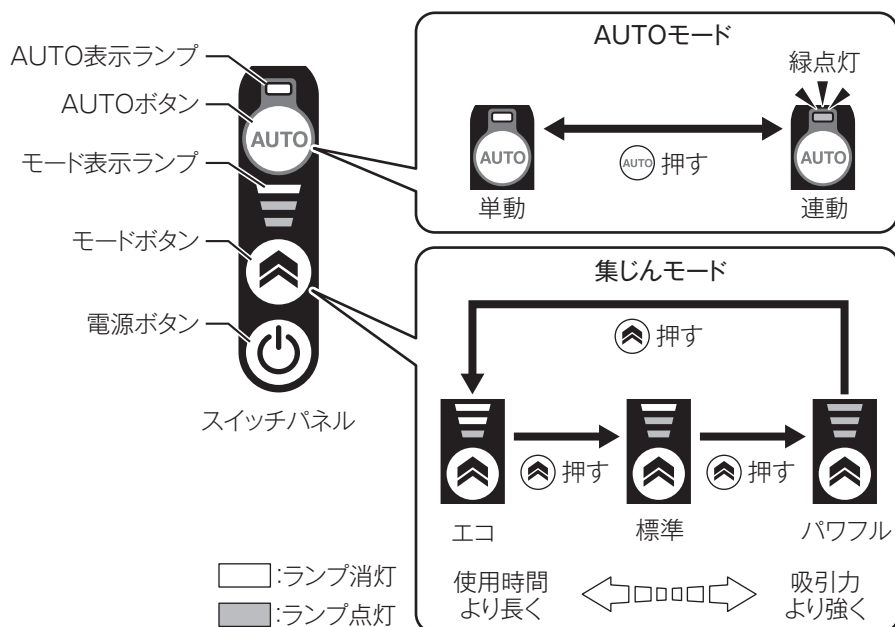
- ・ 空気の通路が塞がれ、故障の原因となります。

吸引力が弱くなった状態で運転を続けしないでください。

- ・ 本製品が発熱し、故障の原因となるおそれがあります。

スイッチの操作

各ボタン操作によるモードの切り替えは次のとおりです。



注

- 工場出荷時、AUTO モードは「単動」、集じんモードは「標準」に設定されています。

■ 電源の入れ方／切り方

- ⏻を押すと本製品が起動します。
- 選択している AUTO モードおよび集じんモードは、表示ランプで確認できます。
- 起動中に⏻を押すと本製品が停止します。

■ 集じんモードについて

- ・ を押すごとに、集じんモードが切り替わります（30 ページ参照）。
- ・ 電源が入／切のどちらの場合でも、集じんモードを切り替えることができます。
- ・ 電源が切れている状態で  または  を押すとスイッチパネルが点灯し、選択しているモードを表示ランプで確認できます。点灯している間に  を押すと、集じんモードを切り替えることができます。

■ AUTO（単動／連動）モードについて

- ・ を押すごとに、AUTO モードが切り替わります（30 ページ参照）。
- ・ 電源が入／切のどちらの場合でも、AUTO モードを切り替えることができます。
- ・ 電源が切れている状態で  または  を押すとスイッチパネルが点灯し、選択しているモードを表示ランプで確認できます。点灯している間に  を押すと、AUTO モードを切り替えることができます。
- ・ AUTO モードが「単動」の状態で  を押すと、直ちに集じんを開始します。再び  を押すと、本製品は停止します。
- ・ AUTO モードが「連動」の状態で  を押すと、電動工具からの無線信号を待機します（集じんを開始しません）。無線信号の待機中に  を押すと、AUTO 表示ランプが消灯して電源が切れます。
- ・ AUTO モードが「連動」のときは、電動工具の電源を入れると、本製品が連動して集じんをおこないます。電動工具の電源を切ってから、約 3 秒後に本製品は集じんを停止します。
- ・ 無線連動機能（AWS）についての詳細は 35 ページを参照してください。

注

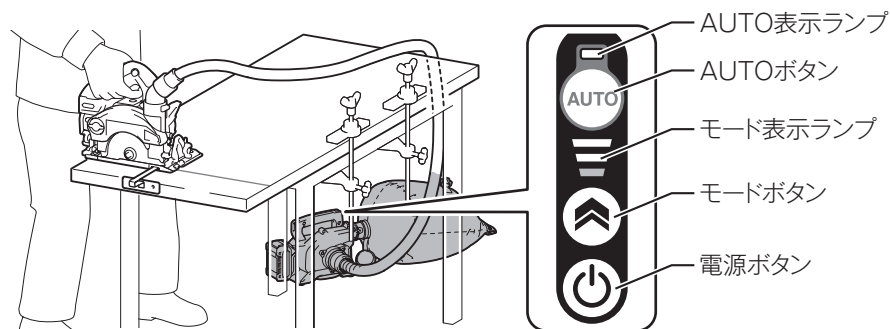
- ・ 本製品には、前回使用時に選択した AUTO モードおよび集じんモードを記憶して再開できるモードメモリ機能が搭載されています。ただし、パワフルモード選択中に電源を切った場合は、再度電源を入れると標準モードで集じんを開始します。

集じん作業（単動モード）

1. 本製品に電動工具、ホース、ダストバッグが確実に取り付けられていることを確認します。
2. 本製品にバッテリーを取り付けます（28 ページ参照）。
3. を押します。直ちに集じんが開始されます。

注

- ・ 本製品が集じんを開始しない場合は、連動モードに設定されています（AUTO 表示ランプ：緑点灯）。
を押して AUTO 表示ランプを消灯させ、単動モードに設定してから、再度ボタンを押してください。
- 4. 電動工具の電源を入れます。
 - ・ 必要に応じて、を押して集じんモードを切り替えてください（設定はモード表示ランプで確認できます）。
- 5. 作業終了時はを押して電源を切ります。



※:電動工具のイラストは参考例です。

注

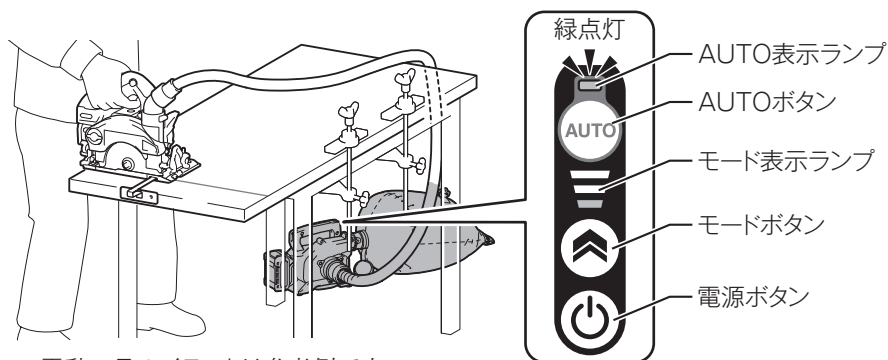
- ・ パワフルモード選択中に電源を切った場合は、再度電源を入れると標準モードで集じんを開始します。

集じん作業（連動モード）

1. 本製品に電動工具、ホース、ダストバッグ、ワイヤレスユニット（37 ページ参照）が確実に取り付けられていることを確認します。
2. 本製品にバッテリーを取り付けます（28 ページ参照）。
3. を押します。本製品は待機状態になります（集じんは開始しません）。

注

- 本製品が集じんを開始した場合は、単動モードに設定されています（AUTO 表示ランプ：消灯）。
を押して AUTO 表示ランプを緑点灯させ、連動モードに設定してください。
- 4. 電動工具の電源を入れます。
 - 電動工具の電源の入／切操作に連動して、本製品も集じんをおこないます。なお、ホース内に溜まった粉じんを吸い込むために、電動工具の電源を切ってから約 3 秒後に本製品は集じんを停止します。
 - 必要に応じて、を押して集じんモードを切り替えてください（設定はモード表示ランプで確認できます）。
- 5. 作業終了時は電動工具の電源を切ります。



※:電動工具のイラストは参考例です。

注

- あらかじめ無線連動機能の各設定を行ってから（35 ページ参照）、集じん作業をおこなってください。
- パワフルモード選択中に電源を切った場合は、再度電源を入れると標準モードで集じんを開始します。

注

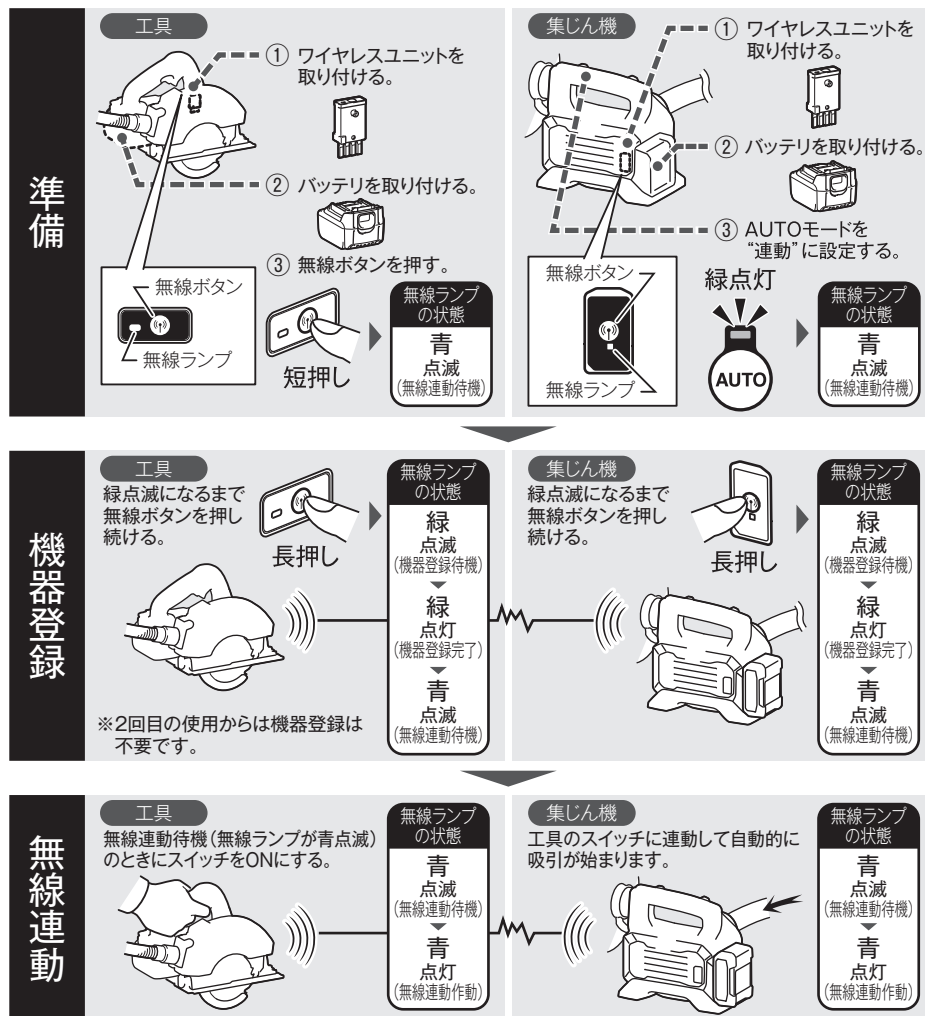
- 作業を開始する前に、必ず無線機能が正常に動作することを確認してください。
- ワイヤレスユニットの通信距離は、使用場所や周囲環境によって異なります。
- 2 時間操作が行われなかった場合、集じん機は自動的に停止し、工具の無線ランプは消灯します。
この場合、を押して集じん機の電源を入れてから無線連動させる工具の無線ボタンを押してください。
- 工具の電源が入ったことを検知してから集じん機に発信するため、集じん機の始動は少し遅れます。
- 1 台の集じん機に複数の工具が登録されている場合、他のユーザーが無線機能を使用すると、工具を操作していなくても集じん機が作動することがあります。
- 工具の電源を入れても無線連動しない場合はワイヤレスユニットを集じん機に機器登録してください (39 ページ参照)。

無線連動機能（AWS）

無線連動の手順概要

無線連動の大まかな手順は以下のとおりです。

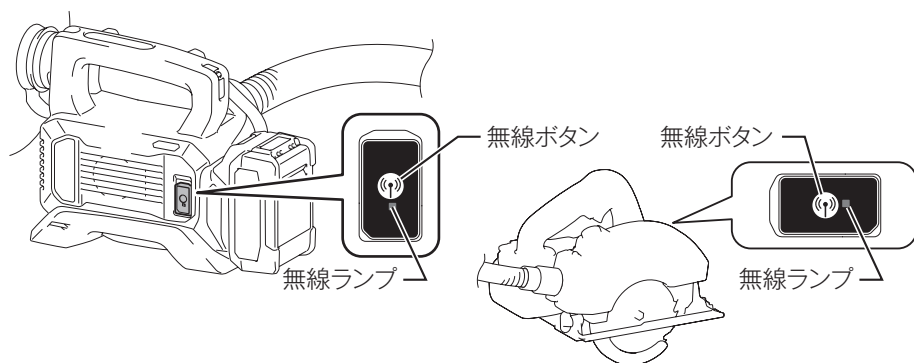
工具、集じん機の操作はどちらが先でもかまいません。詳しい操作方法は、各ステップの説明ページを参照してください。



※製品のイラストは参考例です。製品によりボタンや位置、その他デザインが異なります。

※無線ランプが青点滅中に、工具側の無線ボタンを短く押すか、集じん機の(AUTO)を押してAUTOモードを「単動」にすると無線連動が解除されます。

- ・ 無線連動機能（AWS）を利用するには、無線連動機能に対応したマキタ純正工具と集じん機が必要です。
- ・ 機器登録 / 登録解除の前に工具にワイヤレスユニットが取り付けられていることを確認してください。
- ・ 機器登録 / 登録解除をするときは、工具と集じん機の無線ランプの状態が確認できるように設置してください。



Bluetooth® について



Bluetooth のワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc. が所有する登録商標であり、マキタはこれらのマークをライセンスに基づいて使用しています。その他の商標および商号は、それぞれの所有者に帰属します。

ワイヤレスユニット（A-66151）の取り付け方

- ・ 無線連動機能を使うためには、本製品にワイヤレスユニットを取り付ける必要があります。
- ・ ワイヤレスユニットは別販売品です。

⚠ 警告

ワイヤレスユニットを取り付けたあとは、ワイヤレスユニットを取りはずさないでください。

⚠ 注意

ワイヤレスユニットに触れる前に、金属部品など静電気を放電する素材に触れてください。

- ・ 静電気による故障の原因となります。

ワイヤレスユニットを取り付ける前に、本製品に付着したホコリや汚れを取り除いてください。

- ・ ホコリや汚れがスロット内部に入ると、故障の原因となります。

ワイヤレスユニットを取り付けるときは、水平な場所で作業してください。

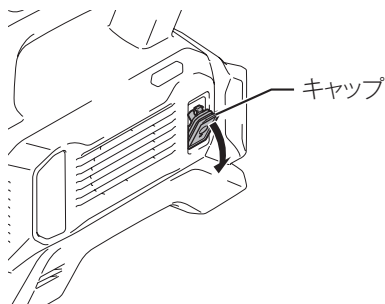
ワイヤレスユニットは正しい方向で挿入してください。

ワイヤレスユニット取り付け後は、キャップが完全に閉まっていることを確認してください。

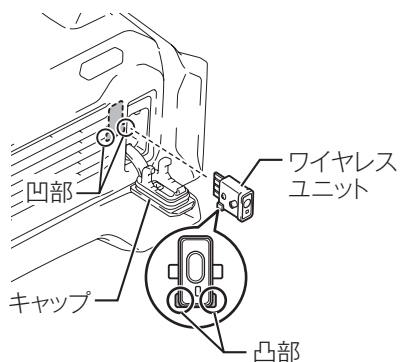
注

- ・ ワイヤレスユニット取り付けの際は、必ず電源を切り、バッテリーを抜いてください。
- ・ バッテリーを差したまま行くと、ワイヤレスユニットの故障原因になります。

1. キャップを開きます。

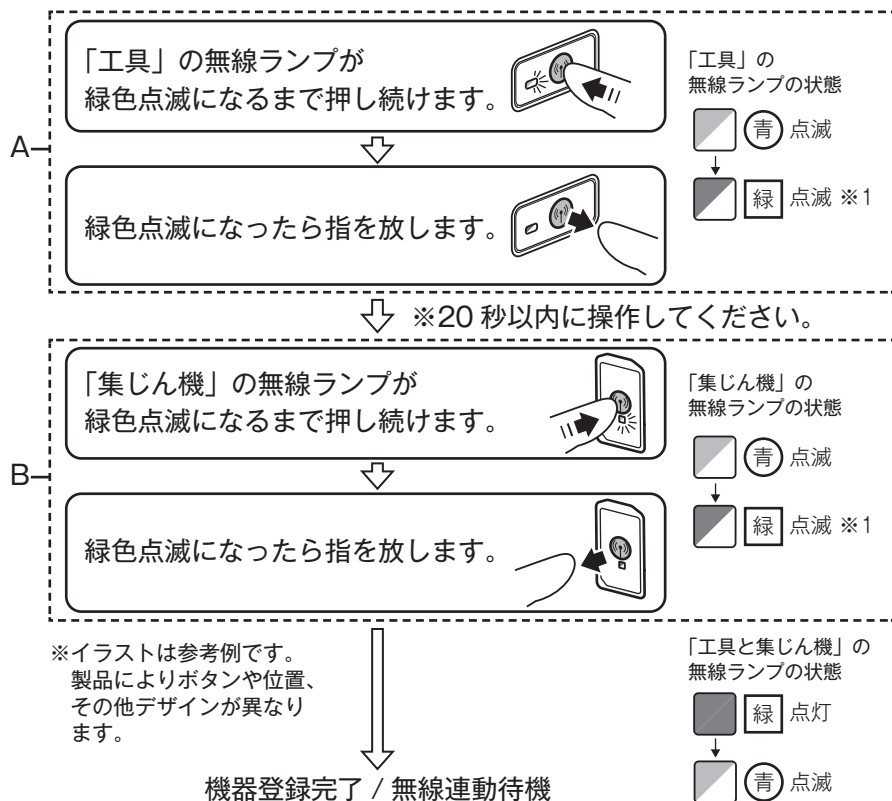


2. ワイヤレスユニットの凸部をスロットの凹部に合わせて挿入します。
3. キャップを閉めます。
 - ・ キャップがしっかりと閉まっていることを確認してください。



機器登録

- 無線連動させる工具に取り付けたワイヤレスユニットを集じん機に登録します。
- 機器登録済みのワイヤレスユニットを工具に取り付ければ、使用するたびに機器登録をする必要はありません。
- 操作は工具と集じん機の両方で行います。

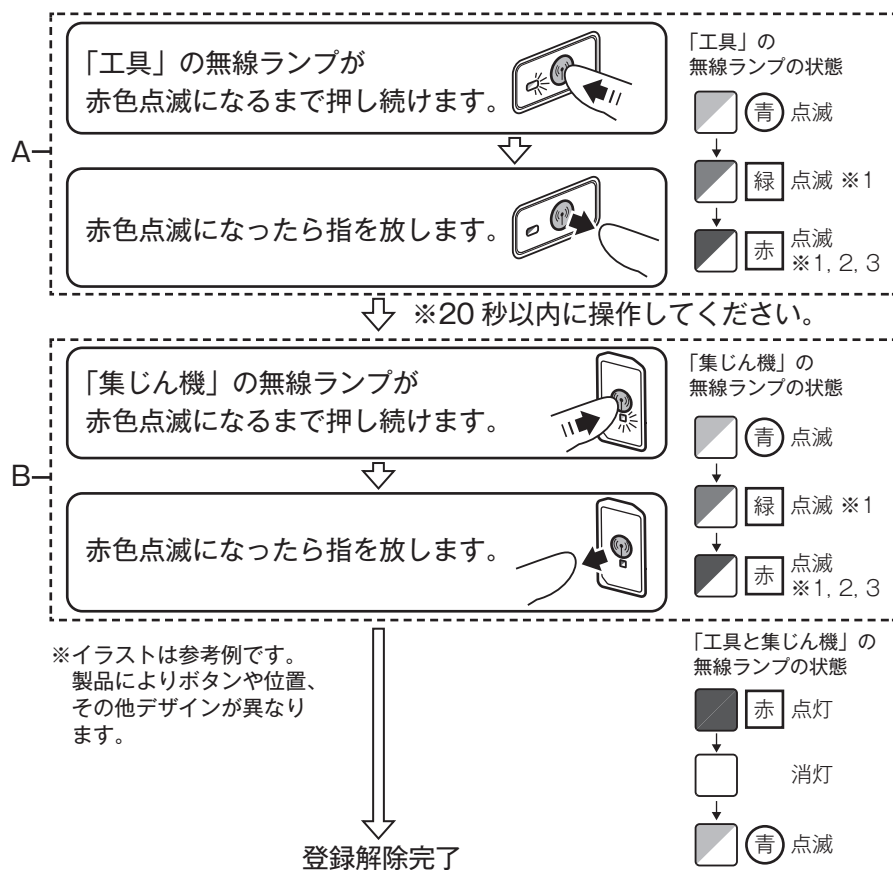


注

- 集じん機の無線ボタンは、バッテリーを取り付けてから約 1 分以内に押してください。
- A の操作と B の操作はどちらを先にしてもかまいませんが、必ず 20 秒以内に次の操作を行ってください。
- ※ 1：無線ランプが緑点滅しているときは、もう一度無線ボタンを短く押すことで操作をキャンセルできます。
- 最大 10 個のワイヤレスユニットまで機器登録できます。10 個を超えた場合は上書きされるため、最も古い登録情報が解除されます。

登録解除

- ・ 記憶している工具との機器登録を個別で解除します。
- ・ 操作は工具と集じん機の両方で行います。

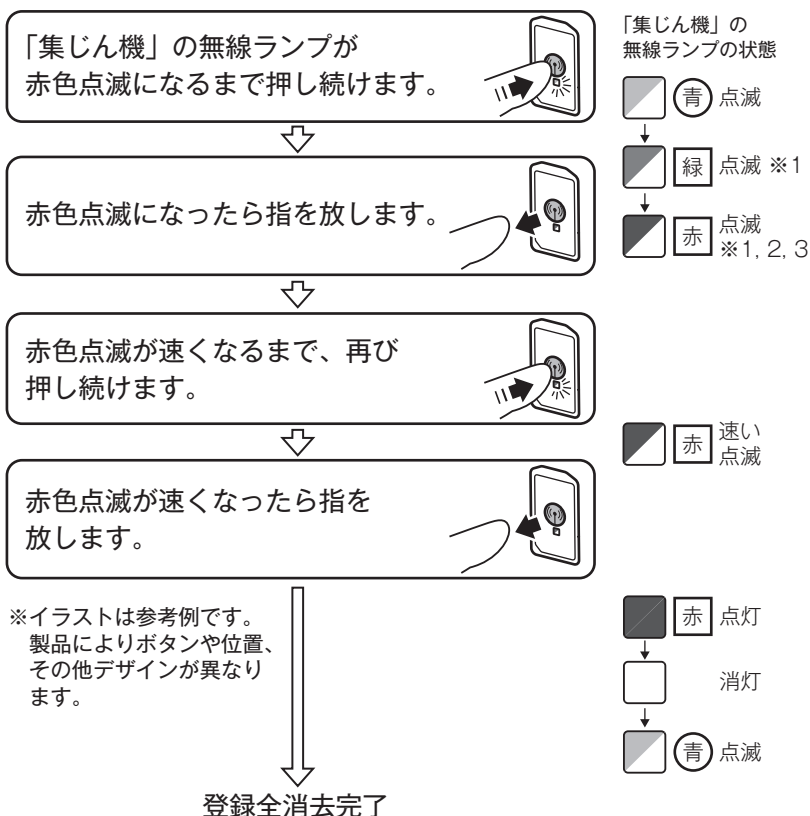


注

- ・ A の操作と B の操作はどちらを先にしてもかまいませんが、必ず 20 秒以内に次の操作を行ってください。
- ・ ※ 1：無線ランプが緑や赤で点滅しているときは、もう一度無線ボタンを短く押すことで操作をキャンセルできます。
- ・ ※ 2：無線ランプが赤点滅しない場合は、一度無線ボタンを短く押してからやり直してください（青点滅に戻ります）。
- ・ ※ 3：赤点滅は約 20 秒で終了します。点滅が終了した場合は、再び赤点滅になるまで無線ボタンを押し続けてください。

登録全消去

- ・ 記憶している工具との機器登録をすべて消去します。
- ・ 操作は集じん機のみで行います。



注

- ・ ※1：無線ランプが緑や赤で点滅しているときは、もう一度無線ボタンを短く押すことで操作をキャンセルできます。
- ・ ※2：無線ランプが赤点滅しない場合は、一度無線ボタンを短く押してからやり直してください（青点滅に戻ります）。
- ・ ※3：赤点滅は約20秒で終了します。点滅が終了した場合は、再び赤点滅になるまで無線ボタンを押し続けてください。

無線ランプについて

基本モード	色	点灯 / 点滅と継続時間		状態
待機	青	点滅	集じん機： AUTO 表示ランプ 点灯時	機器登録の待機中です。
			工具： 電源を入れ、無線ボ タンを押したとき	
			機器登録の完了後	無線連動の待機状態です。
			工具：約 2 時間	無線連動機能が利用できます。 無操作の状態が 2 時間続くと消灯 し、無線連動機能を停止します。
		点灯	運転中のみ	無線連動機能中です。
機器登録	緑	点滅	約 20 秒間	機器登録の準備中です。 登録する工具（ワイヤレスユ ニット）を探しています。
		点灯	約 2 秒間	機器登録が完了しました。 そのあと、青点滅になります。
登録解除・登録全消去	赤	遅い点滅 (2 回 / 秒)	約 20 秒間	登録解除の準備中です。 登録解除する工具（ワイヤレ スユニット）を探しています。
		早い点滅 (5 回 / 秒)	赤点滅後に、再び 無線ボタンを押し 続けたとき	登録した工具（ワイヤレスユ ニット）を全消去する準備が できました。
		点灯	約 2 秒間	登録全消去が完了しました。 そのあと、青点滅になります。
その他	赤	点灯	約 3 秒間	無線連動機能の起動中です。
	消灯	—	—	バッテリーが装着されていない か、バッテリー装着後、無操作の 状態で約 1 分経過しています。

注

- 無線ランプが緑や赤で点滅しているときは、もう一度無線ボタンを短く押すことで操作をキャンセルできます。

トラブルシューティング

症状	原因		対策
無線ランプが点灯 / 点滅しない。	工具	ワイヤレスユニットが取り付けられていない、または取り付け方が間違っている。	ワイヤレスユニットを正しく取り付けてください。 ⇒ 15 ページ参照
		ワイヤレスユニットの端子や取り付け部分が汚れている。	ワイヤレスユニットの端子やスロットに付いたホコリや汚れを落として、取り付け直してください。
		工具の無線ボタンを押していない。	工具の無線ボタンを押してください。 ⇒ 35 ページ参照
	集じん機	バッテリー装着後、集じん機のボタンが無操作状態で約 1 分経過している。	集じん機のボタンを操作してください。バッテリーを一旦取りはずし、差し直してください。
	共通	集じん機、または工具の電源が入っていない。	集じん機、工具ともに電源を入れてください。
		バッテリーの容量が少ない。	バッテリーを充電してください。 ⇒ 24 ページ参照
機器登録 / 登録解除ができない。	工具	ワイヤレスユニットが取り付けられていない、または取り付け方が間違っている。	ワイヤレスユニットを正しく取り付けてください。 ⇒ 15 ページ参照
		ワイヤレスユニットの端子や取り付け部分が汚れている。	ワイヤレスユニットの端子やスロットに付いたホコリや汚れを落として、取り付け直してください。
	集じん機	バッテリー装着後、集じん機のボタンが無操作状態で約 1 分経過している。	集じん機のボタンを操作してください。バッテリーを一旦取りはずし、差し直してください。
	共通	集じん機、または工具の電源が入っていない。	集じん機、工具ともに電源を入れてください。
		操作手順の間違い。	無線ボタンを短く押してからやり直してください。 ・ 機器登録⇒ 39 ページ参照 ・ 登録解除⇒ 40 ページ参照
		工具と集じん機が離れすぎている。	工具と集じん機を近づけて操作してください（最大通信距離は約 10 m。周囲の環境によって変化します）。
		機器登録 / 登録解除の完了前に工具や集じん機のスイッチを入れた。	機器登録 / 登録解除を最初からやり直してください。 ・ 機器登録⇒ 39 ページ参照 ・ 登録解除⇒ 40 ページ参照
		集じん機、工具の片方のみの操作しかできていない。	集じん機と工具の両方を操作してください。
	その他	周囲に強い電波を発する機器がある。	Wi-Fi 機器や電子レンジなどの電波を発する機器から離して操作してください。

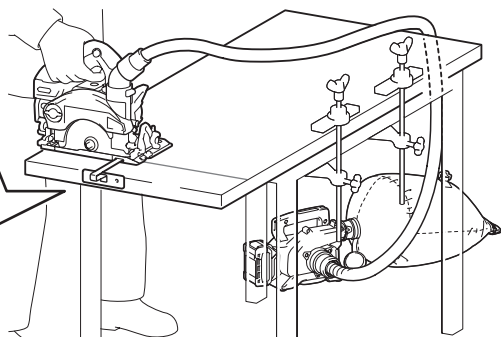
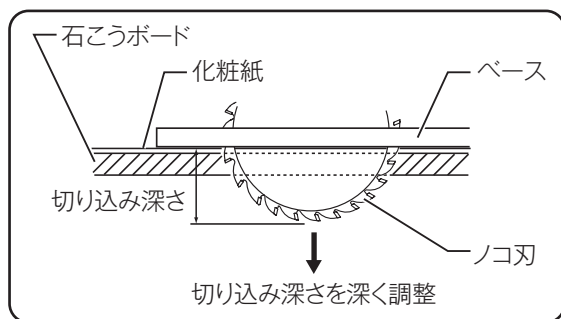
症状	原因		対策
集じん機が動かない。	工具	ワイヤレスユニットが取り付けられていない、または取り付け方が間違っている。	ワイヤレスユニットを正しく取り付けてください。 ⇒ 15 ページ参照
		ワイヤレスユニットの端子や取り付け部分が汚れている。	ワイヤレスユニットの端子やスロットに付いたホコリや汚れを落として、取り付け直してください。
		工具の無線ボタンを押していない。	工具の無線ボタンを押して青点減になってから、スイッチを入れてください。
	集じん機	バッテリー装着後、集じん機のボタンが無操作状態で約 1 分経過している。	集じん機のボタンを操作してください。バッテリーを一旦取りはずし、差し直してください。
		集じん機の AUTO 表示ランプが点灯していない。	集じん機の電源ボタンを押してください。吸引運転が開始したら、AUTO ボタンを押して点灯させてください。
		集じん機の無線ランプが青点減しない。	再登録をしてください。 ・ 機器登録⇒ 39 ページ参照
		集じん機の機器登録が 10 台を超えたため、最も先に登録された機器が解除された。	再登録をしてください。 ・ 機器登録⇒ 39 ページ参照
		機器登録が全消去された。	再登録をしてください。 ・ 機器登録⇒ 39 ページ参照
	共通	集じん機、または工具の電源が入っていない。	集じん機、工具ともに電源を入れてください。
		工具と集じん機が離れすぎている。	工具と集じん機を近づけて操作してください（最大通信距離は約 10 m。周囲の環境によって変化します）。
		バッテリーの容量が少ない。	バッテリーを充電してください。 ⇒ 24 ページ参照
	その他	周囲に強い電波を発する機器がある。	Wi-Fi 機器や電子レンジなどの電波を発する機器から離して操作してください。
工具のスイッチまたは集じんボタンを操作しないときに、集じん機が動く。	集じん機	機器登録した、ほかの工具が集じん機と無線連動している。	・ 使用しない工具の無線連動を解除してください。⇒ 40 ページ参照 ・ 登録全消去を行い、必要な工具の機器登録を行ってください。 ・ 登録全消去⇒ 41 ページ参照 ・ 機器登録⇒ 39 ページ参照
登録全消去ができない。	工具	工具側を操作している。	登録全消去は集じん機のみで行えます。 ⇒ 41 ページ参照
	集じん機	バッテリー装着後、集じん機のボタンが無操作状態で約 1 分経過している。	集じん機のボタンを操作してください。バッテリーを一旦取りはずし、差し直してください。
		操作手順の間違い。	無線ボタンを短く押してからやり直してください。⇒ 41 ページ参照

- ・ 上記の対策をお試しになっても解決しない場合は、故障が考えられます。お買い上げの販売店、または当社営業所まで修理をお申し付けください。

作業方法

石こうボード切断

- 本製品で石こうボードを切断する際、刃物の状態や切り込み深さ、被削材などの諸条件により、石こうボードに貼られた化粧紙が細長く切断され、ホースや本製品の詰まりの原因になる場合があります。このような場合は、切り込み深さを深く調整してご使用ください。ホースや本製品の詰まりを緩和することができます。



- 新品のダストバッグは表面から粉じんが出やすい場合がありますが、数回使用していただくと粉じんが出にくくなります。

別販売品の使い方

⚠ 警告

別販売品の取り付け、取りはずしの際は、必ず本製品からバッテリーを取りはずしてください。

- ・ バッテリーを差したままおこなうと、感電や事故の原因になります。

ショルダベルト（別販売品）の使い方

⚠ 警告

集じん作業時は、ショルダベルトを使用しないでください。

- ・ 肩にかけながら集じん作業をおこなうと、衣服で冷却窓がふさがって本製品の発熱保護機能が働き、自動停止する場合があります。

ショルダベルトを取り付けて本製品を運搬するときは、ショルダベルトを確実に取り付けてください。

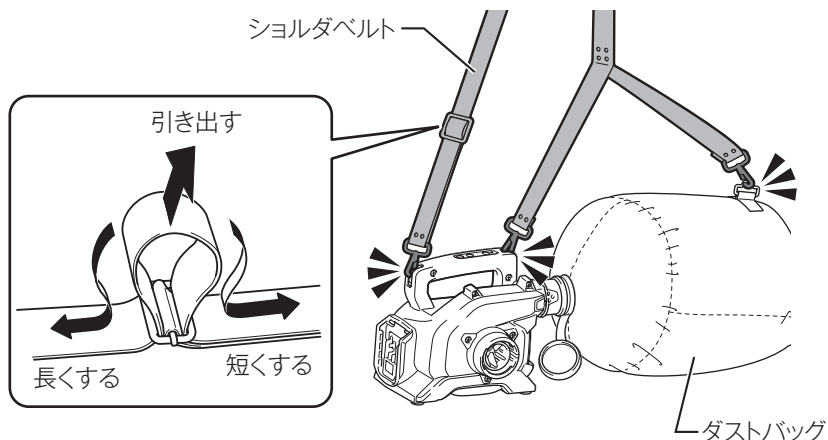
- ・ 確実に取り付けていないと、本製品が落下してけがをしたり、本製品が破損したりする恐れがあります。

取扱説明書に記載のないショルダベルトを使用しないでください。

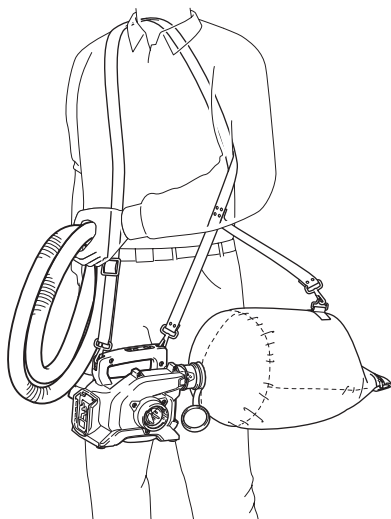
ショルダベルトは本製品を運搬する用途でのみご使用ください。

■ 取り付け方

1. ショルダベルトのフックを本製品に2か所、ダストバッグの金具に1か所取り付けます。
2. ショルダベルトを引き出し、長さを調整します。



3. 図のようにショルダベルトを肩にかけて本製品を運搬してください。



ノズル（別販売品）を使ったブロワ作業

⚠ 警告

ブロワ作業時は、必ず本製品からダストバッグを取りはずして、ノズルを排出口に確実に取り付けてください。

- ・ 確実でないと、はずれたりし、けがや事故の原因になります。

泥水などを吹き飛ばさないでください。

- ・ 吹き飛ばされたものが目に入り、けがの原因になります。

風下からブロワ作業をしないでください。

- ・ 吹き飛ばされたものが目に入り、けがの原因になります。

粉じんがある環境でのブロワ作業時は、保護メガネや防じんマスクを使用してください。また、作業環境により、安全靴、ヘルメット、マスクなどもご使用ください。

ブロワ作業時にノズルの先端を人に向けたり、くずなどを人に吹き付けたりしないでください。また、釘、ガラス、刃物などの鋭利なものを吹き飛ばさないでください。

- ・ けがや事故の原因になります。

ブロワ作業時は、確実に本製品を保持して、スイッチを入れてください。

- ・ 起動時の反動で本製品を落とし、けがや事故の原因になります。

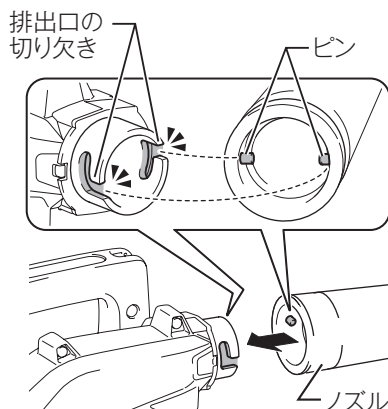
⚠ 注意

集じん作業直後など、本製品に粉じんが残った状態でブロワ作業をおこなうと、粉じんが吹き出る場合があります。残った粉じんを取り除いてからご使用ください。

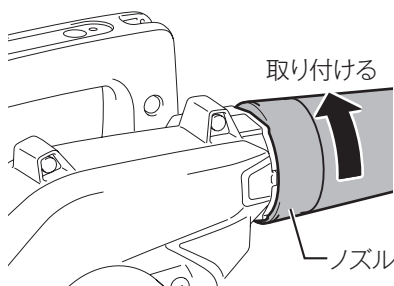
- ・ 故障の原因になります。

■ ノズルの取り付け／取りはずし方法

1. バッテリーを取りはずします（28 ページ参照）。
2. ダストバッグおよびホースを取りはずします（20、22 ページ参照）。
3. ノズル内側のピン（2 か所）を排出口の切り欠きに合わせて、ノズルを挿し込みます。



4. ノズルを右いっぱいまで回し、固定します。
 - ・ 取りはずす際は、ノズルを左いっぱいまで回して引き抜いてください。
5. ノズルを引っ張り、抜けないことを確認します。



■ ブロワ作業

1. バッテリを取り付けます (28 ページ参照)。
2. ノズルの先端を粉じんに向けて、を押します。
 - ・ で風量を調節することができます。
 - ・ 風量はモード表示ランプでご確認ください。



使用後の取り扱い

粉じんの捨て方

⚠ 警告

粉じ金を捨てる際は、必ず本製品から電動工具とバッテリーを取りはずしてください。

- ・ バッテリーを差したままおこなうと、感電や事故の原因になります。

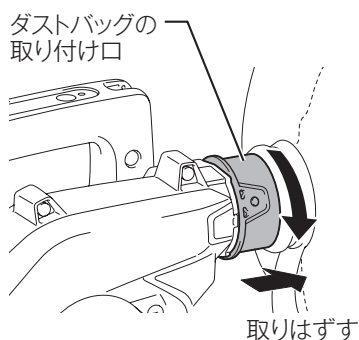
粉じ金を捨てる際には、保護メガネや防じんマスクを使用してください。

⚠ 注意

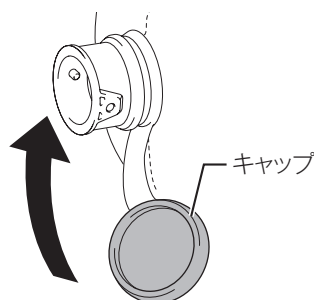
集じん量にもよりますが、ダストバッグの粉じんは本製品の使用後に捨ててください。

- ・ 吸引力の低下やモータの故障の原因になります。

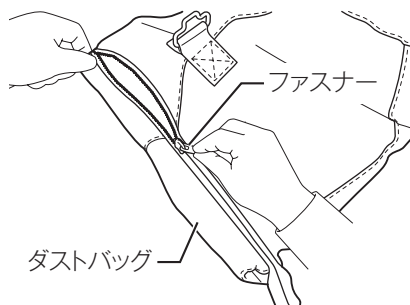
1. ダストバッグの取り付け口を左いっぱいまで回して、本製品からダストバッグを取りはずします。



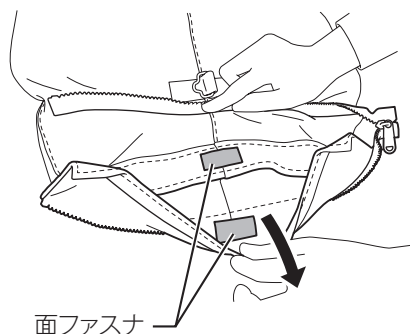
2. ダストバッグのキャップを閉めます。



3. ダストバッグのファスナーを開きます。



4. 面ファスナをはがし、ダストバッグを開きます。



5. ダストバッグのキャップ側を持ち上げ、ファスナー側から粉じんを捨てます。
6. 粉じんを捨てたあとは、面ファスナを合わせ、ファスナーを閉めます。



保管場所について

- ・ 保管する際は、本製品からバッテリーを取りはずして保管してください。
次の場所には保管しないでください。
- × お子様の手が届いたり、持ち出せたりするところ
- × 直射日光の当たるところ
- × 湿気の多いところ

保守

⚠ 警告

点検、整備の際は、必ず本製品から電動工具とバッテリーを取りはずしてください。

- ・ バッテリーを差したままおこなうと、感電や事故の原因になります。

ぬれた手で作業しないでください。

- ・ 感電やけがの原因になります。

本製品のお手入れ

- ・ 乾いた布か薄めた中性洗剤を付けた布できれいに拭いてください。

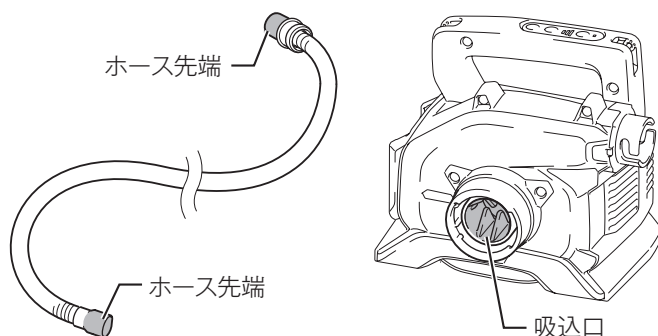
注

- ・ 水洗いは絶対にしないでください。
 - ・ 本製品内部に水が入り、故障の原因になります。
- ・ ガソリン、ベンジン、シンナー、アルコールなどは変色、変形、ひび割れの原因となりますので使用しないでください。

ホース先端および吸込口のお手入れ

⚠ 注意

- ・ ホース先端や吸込口は定期的に点検および清掃してください。また、異物などが詰まった場合は取り除いてください。
 - ・ ホース先端や吸込口に粉じんなどが詰まったまま作業を続けると、吸引力の低下やモータの故障の原因になります。
- ・ 細い木の棒などで粉じんなどをホース先端や吸込口から取り除いてください。



注

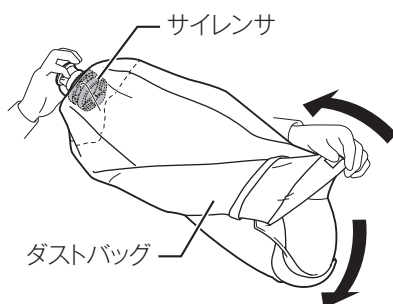
- ・ 金属ブラシやヘラなどの硬いものでホース先端や吸込口をこすってキズを付けないようにしてください。

サイレンサのお手入れ

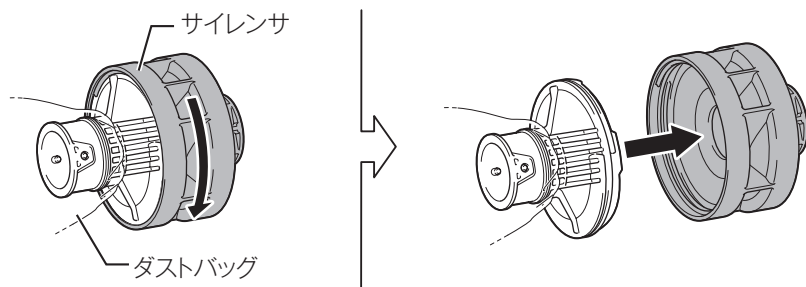
⚠ 注意

- ・ サイレンサは定期的に点検および清掃してください。また、異物などが詰まった場合は取り除いてください。
- ・ サイレンサに粉じんが詰まったまま作業を続けると、吸引力の低下やモータの故障の原因になります。

1. ダストバッグの粉じんを捨てます（50 ページ「粉じんの捨て方」の手順 1 から 5 を参照）。
2. ダストバッグをめくり、中からサイレンサを引き出します。



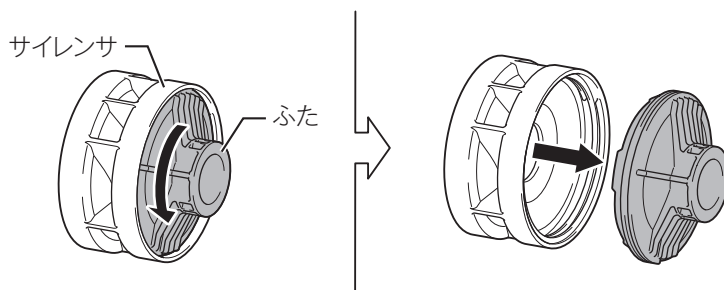
3. ダストバッグからサイレンサを回して取りはずします。



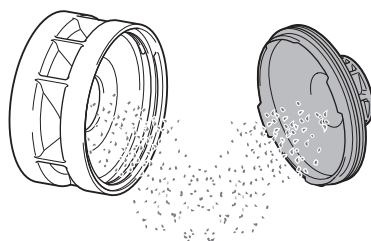
4. サイレンサに堆積した粉じんを、手で軽くたたいて落とします。



5. サイレンサからふたを回して取りはずします。



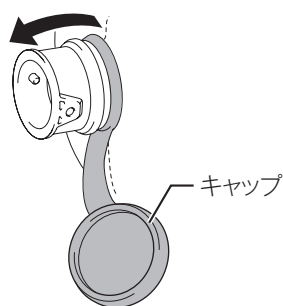
6. サイレンサに堆積した粉じんを、手で軽くたたいて落とします。



7. サイレンサにふたを取り付け、サイレンサをダストバッグに取り付けます。

キャップの取り替え方

- ・ キャップはダストバッグから矢印の方向へ引いて、取りはずすことができます。
- ・ 取り付けるときは、奥まで挿し込んでください。



故障かな？と思ったら

修理を依頼される前に、下記項目を点検してください。

症状

- 本製品が停止する
- 始動しない

原因

保護機能※が働き、本製品またはバッテリーが機能停止している可能性があります。

解消方法

スイッチを切って、再度入れてください。

↓ 解消しない

バッテリーを充電するか、充電済みのバッテリーと交換してください。

↓ 解消しない

本製品を十分に冷ましてください。

↓ 解消しない

お買い上げの販売店、または当社営業所まで修理をお申し付けください。

※保護機能については 27 ページ参照。

ご修理の際は

- ・ 修理はご自分でなさらないで、必ずお買い上げの販売店、または当社営業所にお申し付けください。
- ・ 修理をお申し付けの際は、製品、バッテリー、充電器を一緒にお持ちください。

881L71-6
CRE

株式会社 マキタ

愛知県安城市住吉町 3-11-8 〒446-8502
TEL.0566-98-1711（代表）